



# SSH&国際探究ニュース

## SSH & Global Education Reports

### 数学オリンピック&情報オリンピック勉強会に参加しました！

6月10日(水)・11日(木)の2日間にわたり、お茶の水女子大学附属高等学校にて「数学オリンピック・情報オリンピック勉強会」が開催されました。

当日は東京大学とお茶の水女子大学の学生を講師に迎え、「オリンピックってどんなもの？」「どんな問題が出るの？」「どうやって勉強すればいい？」といった素朴な疑問に丁寧に答えていただき、生徒たちのモチベーションも大いに高まりました。

本記事では、数学オリンピック勉強会に参加した生徒の声をご紹介します！



#### 1. はじめに

私は6月10日にお茶の水女子大学附属高校で数学オリンピック勉強会に参加しました。私は昔から数学が好きで、いつか数学オリンピックに出たいと考えていたので、この勉強会は自分にとって良い経験になると思いました。

#### 2. 勉強会の内容

今回は第1回ということで、そもそも数学オリンピックとは何かについて教えてもらいました。具体的にはJMO (Japan Mathematical Olympiad) とは何か、いつどのように選考を行うのかなどをJGMO、EGMOについても同じように教えてもらいました。他にも予選や本選に向けた対策の仕方などを、講師の方の実体験をもとに分かりやすく教えてもらいました。後半では、JMO 夏季セミナーという夏休みに行われる合宿についても教えてもらいました。

#### 3. これからの展望

今回の勉強会を通して新たに知ったことがあります。それは数学オリンピックに数学Ⅰ・A以上の知識は求められていないということです。しかし、数学ⅡB以降の知識がいらないというわけではなく、新たに見分を広げてくれる可能性があると思いました。これからは主に過去問を用いた勉強を行ってみたいです。

#### 4. 最後に

数学オリンピックは名前だけだと難しそうと思われそうですが、実際には大学範囲の問題が出てくることはなく、すべてが高校までの知識で答えを求めることができます。私も今までは難しそうだから自分にはできないと諦めていましたが、今回体験談を聞いて今からでも間に合うのではないかと勇気をもらうことができました。失敗を恐れず、進んで行動することが大切であると改めて認識する良いきっかけになりました。

(文責 1年 RF)